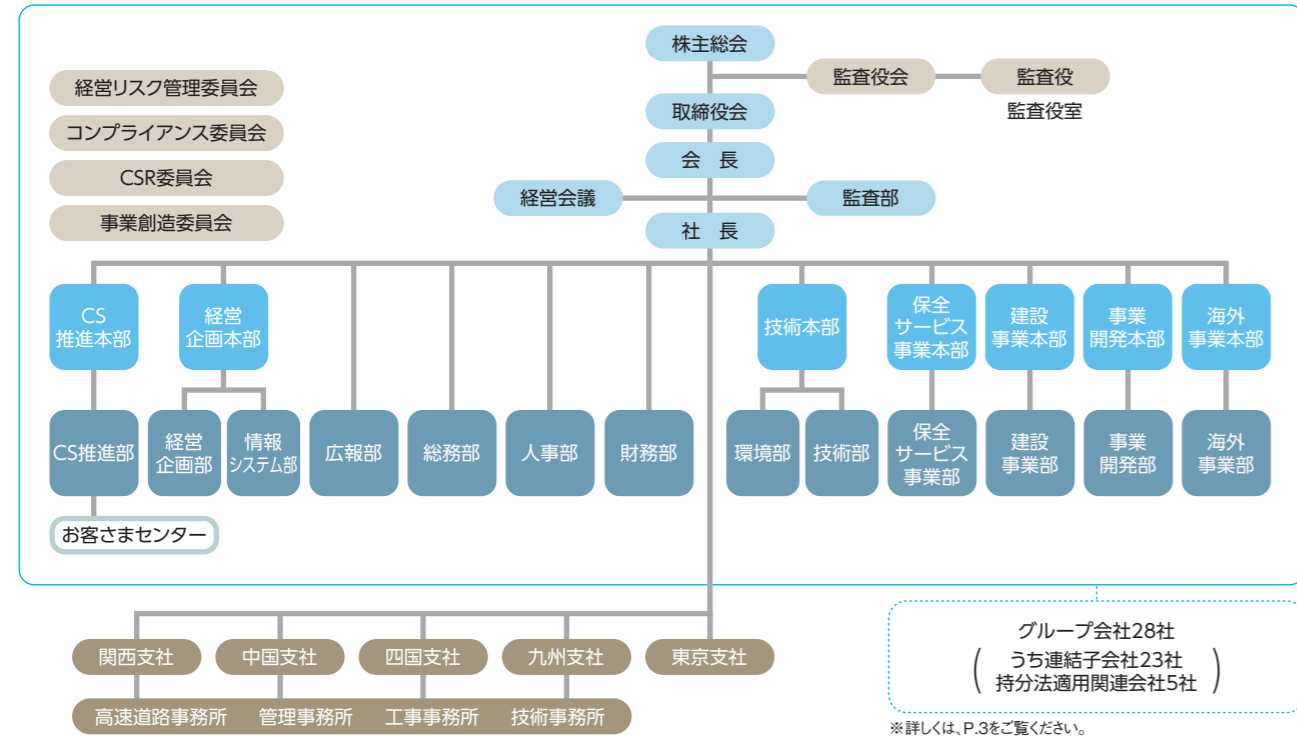


NEXCO西日本グループの業務執行体制

業務執行体制

2011年3月末現在

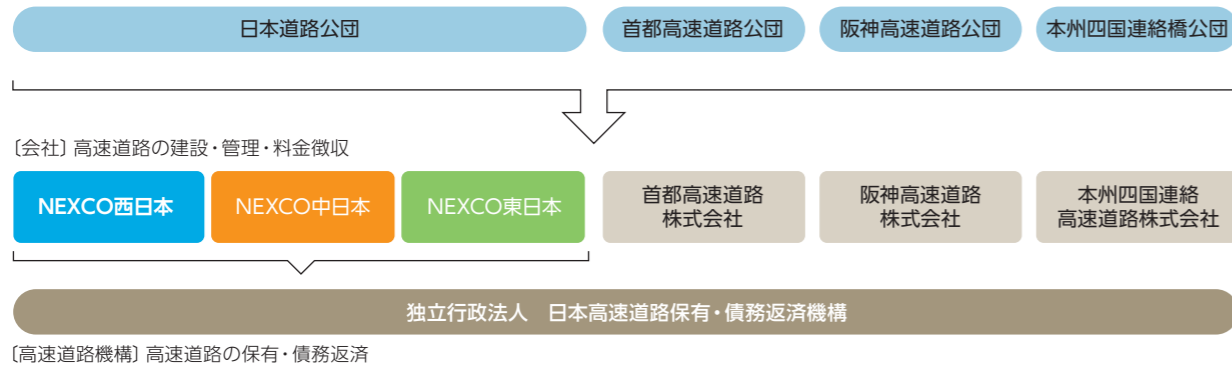


民営化の概要

NEXCO西日本は、右の3つを目的とする旧道路関係4公団民営化において、旧日本道路公団 (JH) の3分割により2005年10月1日に設立されました。

なお、道路関係4公団は下図のとおり、高速道路資産を保有し、その債務の返済を実施する独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下、高速道路機構) から、高速道路資産を借り受け、運営管理を実施する6会社に分割されています。

- ### 民営化の目的
- 1 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
 - 2 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
 - 3 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。



NEXCO西日本グループの財務状況

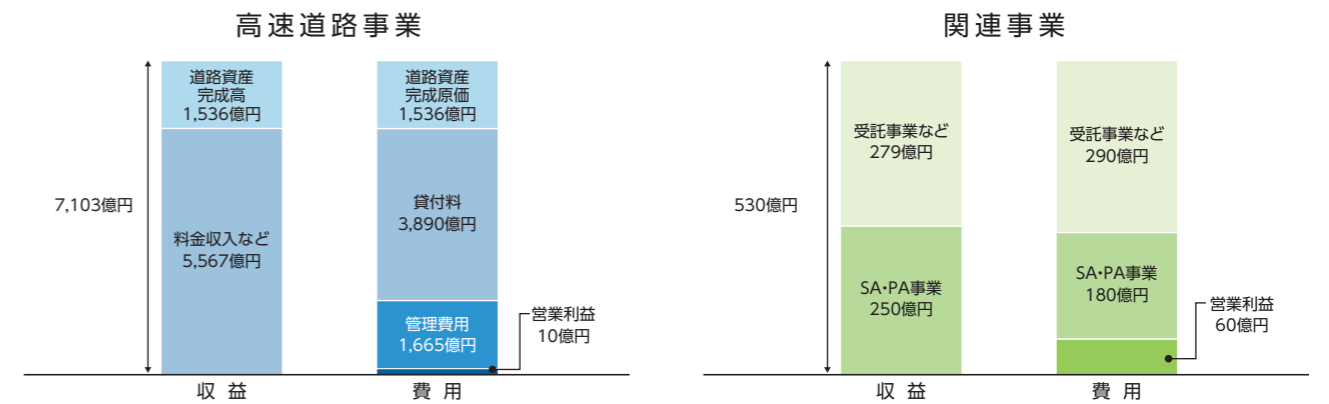
財務状況

2010年度は、高速道路事業においては、料金収入などから高速道路機構への貸付料や必要な管理費用を支出した結果、営業利益は10億円となりました。

関連事業においてはSA・PA事業、駐車場事業のほか、国

らの受託事業などがあり、営業利益は60億円となりました。その結果、NEXCO西日本グループ全体では営業利益は71億円、当期純利益は100億円となりました。

2010年度連結損益計算書



※民営化後のスキームについては、P.4をご覧ください。
※端数処理の関係により合計が一致しない場合があります。

当社グループ収支の推移

高速道路事業・関連事業ともに順調に利益を計上し、財務体質強化を図るとともに、SA・PAリニューアル投資等に充当しています。

▼連結営業利益・当期純利益の推移 (単位: 億円)

年 度		2005	2006	2007	2008	2009	2010
営業利益	高速道路事業	183	125	37	30	62	10
	関連事業	14	64	59	47	67	60
	計	197	190	96	78	130	71
当期純利益		97	120	76	58	67	100